

副理事長 古賀 政啓

2020年に全世界へと感染拡大した新型コロナウイルス感染症の問題に加え、国家間の緊張や気候変動による自然災害の多発化により私たちの取り巻く環境は混沌とし、大きな問題を抱えかつてない変遷を迎えています。人口の減少や産業の衰退など様々な問題を抱える八女地域についても影響を与えており、地域を牽引する立場にある私たちは意識を変革し、JAYCEEとして進化を遂げ、地域により良い変化をもたらす必要があります。

まずは、私たちJAYCEEが地域の未来を牽引していくために、メンバーの学びや成長の機会を通じて、JCの三信条である「奉仕・修練・友情」を育み、メンバーが地域の発展を導けるよう地域のリーダーとしての成長を促します。そして、八女地域の明るい豊かな社会の実現のために、地域に住み暮らす人々とともに地域が抱える問題に対して向き合うことで、地域への誇りと愛着を醸成し、課題解決に向け取り組んでいきます。さらに、私たちが永続的な組織として活動や運動をより効果的に展開していくために、自身も率先的に会員拡大に取り組むとともに、メンバーの定着化に向け、積極的に交流を深めていくことでこれまで培った経験とJCの魅力伝えていきます。また、より地域に必要な団体として成長するために、災害発生時は社会福祉協議会と連携を取り、迅速かつ率先的に行動し、自身のリーダーとしての研鑽を積み、メンバーの成長へとつなげます。そして、強い組織づくりのために、副理事長として理事長の想いを十分に理解し、落とし込みを図り、意識改革に努め、地域を牽引するリーダーとしての成長への一助とします。

閉塞感に溢れた現状を打破するため果敢に挑戦することでJAYCEEとしての成長はもとより、地域の明るい未来へとつながります。自身のさらなる高みに向け、何事にも恐れず共に勇気を持って行動し、八女地域及びJC I八女の新たなステージへと導いていきます。

副理事長 井星 幸雄

2020年に感染が拡大した新型コロナウイルスが、いまだ生活に影響を与え続けている中で、2022年にはロシアによるウクライナ侵攻が突如勃発いたしました。今までに体験したことのない状況で世界情勢は安定せず、経済や物流がスムーズにいかない状況になっています。私たちJCは基本理念である明るい豊かな社会の実現に向けて、全世界が結束を深め、次世代のリーダーを育てる環境を構築していく必要性が求められています。

まずは、八女地域の宝であり未来を牽引していく子供たちが次世代のリーダーとしての成長を図るために、子供たちの心の教育を行っていく機会を創出します。そして、様々な経験を通じて、自らに秘められた可能性に気づき将来の夢と希望を明確にすることで、それを実現できるリーダーへと進化させます。さらに、近年では多種多様な文化や様々な情報に溢れており、様々なことを受け入れていく必要がある中で地域の発展のためにも国際化社会において異文化への理解を深め、文化の受け入れを柔軟に対応できる環境を構築し、グローバルな人財の成長を促していきます。また、私たちJAYCEEが地域を想い、先輩諸兄姉が掲げられてきた三信条である「奉仕・修練・友情」を育むことで地域の発展を導けるよう物事に対する興味や魅力を発信していき、副理事長としてしっかりと理事長の理念を理解しメンバーにわかりやすく伝えていく事が大切だと考え、入会が浅いメンバーに参加を促しJCの運動や活動を通して築きを得ていく中で、自身も成長していき想いが伝われば確実に興味をもった青年経済人のメンバー拡大にもつながっていくと確信いたします。

著しく変化していく時代と環境の中で、新しい未来へ大きな進化を遂げる事でJCI八女は更なる高みを目指し新たなステージへ踏み込んで行くことで、意識を統一し同じ方向に向かって突き進み、地域社会の発展を多くの仲間と共有して実現します。

副理事長兼会員拡大連絡会議議長 山下 泰広

J C I八女は、1959年の創立以来多くの先輩諸兄姉の志が脈々と受け継がれ、永年に渡りJ C運動を展開して参りました。現在J Cは全国的に会員数の減少という大きな課題を抱え、J C I八女においては会員数の減少に歯止めがかかっているものの会員数はピーク時の半数以下となっており、引き続き地域により良い変化をもたらす運動を展開するためには会員拡大に力を入れ、多様で影響力のある組織を構築することが必要です。

まずは、副理事長としてJ C I八女が八女地域から必要とされる魅力ある団体となるために、理事長のサポートはもちろんのこと、渉外担当理事、メンバーのサポートを行い、組織力を向上させメンバーが飛躍できる環境づくりに努めて参ります。そして、J C I八女が他団体、地域の方々との連携を強固なものとするために、渉外担当理事が出向し各八女地域の事業に向け活動を行えるよう密に打ち合わせを行い、助力して参ります。さらに、本年度の会員拡大を成功に導くために、室長、渉外担当理事、常務理事とともに会員拡大連絡会議を毎月実施し、拡大候補者の情報収集、アプローチ方法の検討を行い、候補者の入会へとつなげていきます。また、より多くの候補者を面接につなげるために、候補者リストを充実させ、担当者に進捗状況の確認を行うことでスピード感を持って候補者へのアプローチを行います。そして、J C I八女に多様な人財が集まり、影響力のある組織となるために、事務局次長と連携しホームページやSNSを有効的に活用することで認知度の向上に努め、20代の若い人財や女性会員の入会へとつなげます。

私たちJ C I八女が変化を恐れず勇気を持って一步を踏み出すことで、メンバーそれぞれが成長し地域を牽引するリーダーへと進化し、新たに多様な同志が加わることで私たちの運動の効果は飛躍的に高まり、新たな魅力を備え人々の笑顔が溢れる地域を実現します。

第一室 室長 橋本 雄大

2020年に全世界に感染拡大し、未だに私たちの生活に影響がある新型コロナウイルス感染症の問題、ロシア・ウクライナの国家間の緊張など私たちが住み暮らす八女地域でもその影響が様々な社会問題へとなっています。急激に変化する時代に対応していくために、私たちJ Cは地域の発展に寄与する団体として地域のニーズに適応し、必要とされる団体へと進化し続ける必要があります。

まずは、私たちが住み暮らす八女地域の発展と地域を牽引するリーダーとしての成長に向けてより良い変化をもたらすためにメンバー一人ひとりが様々な課題を真摯に受け止め、当事者意識を持って考えることができる組織の形成を行います。そして、まちづくり委員会では八女地域の課題に向き合い、地域に誇りと愛着を持ち、八女地域の良さを対外に発信していく事業に取り組むことで多くの人々が郷土の素晴らしさを再確認できる事業へと導いていきます。さらに、誰一人取り残さない持続可能な地域の発展に向けて行政や他団体、市民と協働することで新たな八女の価値を伝えることができると確信しています。また、例会研修委員会ではJ C I八女のメンバーが地域を牽引するリーダーへと成長することができる事業へ取り組み、L O M益・地域益・個人益を生み出す事業へとなるように導いていきます。そして、近年J C I八女では増加している入会歴の浅いメンバーのために魅力的な例会運営や事業等の構築をサポートし多くのメンバーへ学びや成長の機会を提供することで、地域を牽引するリーダーとしての意識の進化へとつながると確信します。

変化が著しい時代においても臆することなく、一人ひとりが新たなステージに向け率先して行動することで、地域の明るい未来の実現とJ A Y C E Eとしての進化へとつながっていきます。多様な問題に勇気を持って行動し、明るい豊かな社会の実現に向けて一歩ずつ踏み出していきます。

第二室 室長 松尾 研士

1959年の創立以来、私たちは明るい豊かな社会の実現に向け、地域の課題と向き合い多くの運動を展開してきました。しかし、2020年の新型コロナウイルス感染症の問題や異常気象による災害の発生、国家間の対立等により私たちの生活を取り巻く環境は大きく変化し、住み暮らす八女地域においても様々な課題が生まれています。その課題を新たな手法で解決し、地域のことを考え、先を見据えたJC運動を展開することが必要です。

まずは、担当委員会が地域のために行動できる人財の育成事業や外国の文化に触れ関心を持つことのできる事業を構築するために、メンバー一人ひとりの意見を尊重し新しい考えを取り入れることで、室全体の活性化や成長につながります。そして、各委員長が理事長の想いを現実にするために、委員会に出席し助言を与え交流を深めることで、信頼関係を構築しJC活動、運動が円滑に実施できるように導きます。さらに、青少年育成委員会では事業を通して夢や希望を実現するための行動力を養うために、自分一人ではできないことも周りとの協力して成し遂げる達成感を感じてもらうことで、自らが率先して行動できる人財の育成に寄与できるよう導きます。また、国際交流委員会では昨年の経験を活かして新しい出会いや気づきを得るために、外国の文化や考えに触れ関心を持つことで、八女地域の発展に寄与できるグローバルな人財の育成につながります。そして、JCI八女の永続的な運動を展開するために、新たな候補者の情報収集やアプローチを率先的に実施することで、会員拡大につながり、JCが八女地域にとって必要不可欠な組織となるよう導きます。

私たちは、明るい豊かな社会の実現に向け、先輩諸兄姉から引き継いだ強い想いやあゆみを止めることなく、成長へと導いたJCI八女が地域のために、常に進化し続けることで、未来を見据え新たな手法を発見し、JAYCEEが持続可能な八女地域を実現します。

渉外担当理事 服部 修平

近年、都心部への人口・経済・文化などの一極集中や、超高齢化社会による労働力不足などの影響を受け地域衰退化が進み、八女地域においても全部過疎に指定され、経済的にも影響が出るほど深刻な問題を抱え転機を迎えています。様々な問題に目を向け取り組み対応し、解決していくためには八女地域における各団体との連携やJ Cのスケールメリットを活かした活動や学びの機会を創出し、地域の共感を得て運動を展開することが必要です。

まずは、J C I八女の現状を把握し、渉外担当理事として他LOMや他団体との連携を強化するために各種会議へ率先して参加し、その中で取り込まれる大きな規模の設えや工夫が凝らされたファンクションを学び、様々なアイデアや捉え方・生み出し方を養い成長につなげるとともに、積極的に協力することで運動の効果を高める必要があります。そして、家族懇親会を通して日々そばで支えていただいている家族に感謝の意を伝え、メンバーの家族同士が親睦を深めることで我々の活動への理解を深めさらなるご支援をいただき、J C I八女の活動の円滑化につなげます。さらに、委員会タイムを活用し、他団体との懇親を深める機会を提供し、互いの地域をより良い未来にするために意見を交換し、意識の向上とともに共有・共感を図り、J C I八女の発展につなげます。また、会員拡大においては効率的な拡大会議を実施することで、候補者のリストアップ及び迅速なアプローチを行い入会へとつなげます。そして、入会者のサポートを密に行い積極的な参加を促すことでJ Cの魅力を伝え、入会者がJ C I八女の一員として活躍できるように導きます。

様々な出向や会議での学びを通して経験を積み、LOMへ還元することによりJ C I八女は発展を遂げ、周囲からの共感や支えを得て、成長のバトンをメンバーへとつなぎます。自らつかみ取り挑戦し続ける姿勢を身につけた我々は誰もが輝ける組織へと進化します。

まちづくり委員会 委員長 江崎 翔太

豊かな大地に育まれた八女地域は江戸時代より栄え、伝統工芸や林業、農産物が魅力の自然豊かな地域です。一方で人口減少に伴う後継者不足や超高齢社会の到来、大規模な地震や頻発する集中豪雨などによる自然災害、新型コロナウイルス感染症等の影響により地域を支える青年に求められる役割は大きく変化しています。私たちを取り巻く環境が大きく変容していく中で、豊かで多様な暮らしができるまちづくりに取り組むことが必要です。

まずは、人口減少や後継者不足問題を克服するために、八女地域が本来持っているポテンシャルを最大限かつ魅力的に引き出し、住み暮らす私たちが再確認をするとともに人の心に残る真の魅力、真のファンを作る情報発信を行います。そして、八女地域の発展を支える私たち青年一人ひとりが八女地域のファンとなり、地域の活性化を図ります。さらに、八女地域に住み暮らす人々やこれから移住される人々に暗い未来ではなく、明るい未来を描けるようなまちづくりを行うために、県内一の森林面積を誇る八女地域特有の自然災害の原因である放置竹林問題や担い手不足を解決へと導き、住み暮らす人々が自然災害に怯えながら生活するのではなく、自然と人とのバランスが取れた安心して暮らせるまちを目指します。また、地域活性化を願う行政や各団体 J C I 八女全員が力を合わせることで、その効果も人々の笑顔も数倍になると確信します。そして、12月総会では卒業生のこれまでの功績を称え、「奉仕・修練・友情」の三信条をしっかりと引き継ぎメンバー一人ひとりが J A Y C E E として飛躍的に成長した姿で企画・運営を行います。

今こそ私たち J C I 八女が先頭に立ち行政や各団体に進化するきっかけを与え、勇気をもって一步踏み出し地域のまちづくりに取り組むことで、八女地域も人々も J C も進化することにより、私たち J C が笑顔と幸福度に溢れた新たなステージへと導きます。

例会研修委員会 委員長 堤 三智紘

新型コロナウイルス感染症や国家間の緊張等により世界情勢も変化し、食料やエネルギーといった一次製品の価格上昇に伴い、経済の状況も一変しました。私たちが住み暮らす八女地域においても人々の生活状況は大きく変化し、J C I八女としても地域にどのような課題があるかを精査し、効果的な運動を展開しメンバー一人ひとりがリーダー性を兼ね備えた人財に成長し、私たちの住み暮らす八女地域の発展にむけて尽力していく必要があります。

まずは、本年度例会研修委員会として私たちJ C一人ひとりが地域社会で率先して行動する意識を高めることができるようにJ Cのミッションとアクティブシチズン像を学ぶ場を創り、J C I八女として運動目的の理解を深め、個人の目標を見つけることができるように導いていきます。そして、メンバーが今後の活動に意義と目的を見つけ、八女地域の課題や強固な組織創りの必要性を理解するとともに、青年経済人としてのリーダー性の向上の認識をしてもらいます。さらに、笑顔溢れる明るい豊かな社会の実現に向け、J C運動の発信を行い、「奉仕・修練・友情」の三信条を肝に銘じて自身のためだけでなく地域や周囲の人々のために奉仕し、修練を乗り越えることでJ A Y C E Eとして成長できる機会を提供していきます。また、毎月行われる例会では、参加率の向上を図るためにも率先的にメンバーへの声掛けを行うとともに、委員会タイムをメンバーの成長のために積極的に展開し活用して行きます。そして入会歴の浅いメンバーにもJ Cの魅力伝え、J C I八女の歴史や学びを得る機会を提供し、メンバー一人ひとりがJ C I八女に誇りを持つことができると確信します。

本年度のスローガン「進化」～勇気をもって新たなステージへ～のもとメンバー自身が変革を起こし、高い志を持った魅力的な人財となり英知と勇気と情熱を持ったリーダー育成に取り組むことで地域に必要とされる持続可能な組織の進化へとつなげます。

青少年育成委員会 委員長 木下 徹郎

2020年以降、世界中で新型コロナウイルス感染拡大の影響によりコミュニケーションを取る機会は減り、将来に希望を抱けない子供が増えています。同時に私たちが住み暮らすこの八女地域においては、出生率の低下や都市部への若者の移住により人口は減り続け国の宝でもあり、未来を担っていく子供たちの郷土愛が薄れつつあります。だからこそ、私たちJCI八女が新たな成長の場を提供し、地域と共に青少年育成に取り組む必要があります。

まずは、青少年育成委員会として子供たちがこれから住み続ける八女地域において夢や希望を持つために、学校や家庭では体験することができない学びの機会を提供し、一人ではできないことにも率先し挑戦することができるために、自分中心ではなく、相手のことを思い共に行動することで、子供たちの心の教育につなげます。そして、目標を与え、同じ方向に向かって周囲を巻き込み自分の想いを発信し、相手の想いを聞くことで、コミュニケーションが取れ、その先には大きな喜びと達成感を実感できる事業を構築します。さらに、将来八女地域に定住し地域の発展に寄与する人財へと成長することにつなげるために、八女地域の歴史や文化・伝統工芸に触れることで、郷土愛を育みます。また、理事長の想いをメンバー一人ひとりが理解し地域の発展に向けて一年のスタートを切るために、新年総会を実施しすることで、行政や各種団体からの理解を深め私たちが愛する八女地域の発展のために連携強化に努めます。そして、より影響力のある団体として、JCI八女の2023年度の活動・運動方針を多くの方々に発信する大事な機会とします。

「進化」～勇気をもって新たなステージへ～本年度スローガンのもと、一人でも多くの子供が八女地域に魅力を感じることで、夢へ向け率先して共に行動できることを目指し、委員会メンバーを牽引し共に一步を踏み出し、持続可能な明るい社会を実現します。

国際交流委員会 委員長 入部 将太

世界は、2020年から拡大した新型コロナウイルス感染症によってこれまでの日常は変化し社会の様相は一変しました。人々の交流が制限されるなかで人や国の垣根を越えて、平等で平和な社会を目指すには、外国人の力は必要不可欠となっています。八女地域でも外国人実習生や留学生等が活躍する時代となった今、日本と外国の若い世代が交流を深め、外国の文化や慣習に触れることでよりよいグローバルな八女地域に進化する必要があります。

まずは、JCI八女として国際交流を継続的に実施するために、時勢の変化に対応した新たな交流を模索し実行していきます。そして、よりよい国際交流とするために、八女地域の若者に留学生と触れ合ってもらおう事で、自らの生活や八女地域の文化に対する再構築を図り、異文化交流を経験した学生の意識変革が起き国際社会に貢献する豊かな人財育成につなげます。さらに、地域全体がグローバルな文化を受け入れやすくなるため、新たな視点から見た地域社会や文化の発展へと導きます。また、日本の文化や伝統を理解してもらい、外国人の意見を取り入れることでお互いの文化や慣習を尊重し進化する事業を構築します。外国人が八女地域で学んだことを自国に持ちかえり、それぞれの国に八女の魅力を発信するために、八女地域の若い世代と海外の若い世代が交流を深めることで、お互いの関心を高めあいグローバルな考えを持つ人財の育成に寄与します。そして、夏期総会では組織強化のために、先輩諸兄姉との貴重な会話の中において気づきを得ることで、新たなアイデアを生み出すとともに、JCI八女の歴史と伝統を引き継いでまいります。

私たちJCI八女として、今年のスローガンである「進化」のもと我々が道標となり八女地域、世界、若者が希望の輪を作り、大きな一歩を踏み出し、明るい豊かな社会の実現へ進み続けることで、互いに意欲を高め、新しいグローバルな社会へ進化を実現します。

専務理事 高山 泰輔

新型コロナウイルス感染症の拡大により人との関わり方や物事の価値観、働き方など私たちを取り巻く社会環境は大きく変化し、過去に例を見ないスピードで日々加速しながら新たな変革期を迎えています。八女地域により良い変化をもたらすには、地域のリーダーとして行政や各団体、住民とともに課題解決に向けた新しい運動を展開していく必要があります、時代に即した活動を取り入れながら多様性を備えたまちへと進化する必要があります。

まずは、J C I八女が同じ方向性のもと団結し、運動の効果を最大化するために、理事長の考えを一番に理解し、副理事長との情報共有を密にすることで組織の統制を行い、LOM運営の円滑化を図ることで強固な組織を構築します。そして、活動の効果を最大化させるために、意欲向上に向けた的確な助言とスケジュール管理、オンオフのメリハリをつけることで、活発な意見が飛び交う雰囲気を作り上げます。さらに、メンバーに発展と成長の機会を提供するために、対内外事業を行う意義や目的、重要性を積極的に伝え意欲的な参加を促し、新たな意識変革の機会を得ることで利他の精神や実行力、精神力を備えた地域のリーダーとして進化を遂げます。また、LOMの枠にとらわれない幅広い人脈を広げるために、出向の機会を最大限に促し、ブロックや九州地区、日本の事業に参画することで新たな体験や厳しさを乗り越えて成長する機会とします。そして、地域により良い変化をもたらすために、議案の精度向上や最適化に向けた的確な助言やサポートを行い、地域の未来を見据えた運動を展開することで課題解決につながる仕組みを作り上げます。

社会環境が著しく変化する中で、八女地域をより良い未来へ変えたいという想いが多くの人々の心に伝播し意識の変化が生まれ、勇気を持って踏み出した新たな一歩が魅力溢れたまちを創る原動力となり、希望に満ちた笑顔が溢れるまちへと八女地域は進化します。

常務理事 中島 恭佑

2020年に全世界へと感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、未だに終息の目途が見えない中、ロシアによるウクライナ侵攻によって世界中を巻き込んだ経済活動の減速やインフレの進行で、私たちの生活様式は大きく変化しました。それでも私たちJCは、自らが地域を支えるリーダーとしての自覚を持つことで社会や地域が抱える問題を理解し、解決に向けた運動を率先的に行い明るい豊かな社会を築いていかなければなりません。

まずは、理事長の想いを理解し、結束力の強い組織へと成長するために専務理事のサポートを徹底し、室長や委員長と密に連絡を取り合い、事業や例会、エリア会議、各種大会などの参加を呼びかけLOM全体にJCの魅力を発信し、スキルアップにつなげ多くのメンバーが参加する組織体を目指します。そして、力強い組織へと進化するために会員拡大に力を入れ、各グループに目標人数を設定し確実に入会へと導き、一人ひとりが情報を共有し発信することで、会員拡大へとつなげます。さらに、事業や理事会のスムーズな設営をするとともに徹底したスケジュール管理と事前の出欠確認を行うことで、規則を守ることができ正確で円滑な組織の運営につなげます。また、JCI八女の存在価値の向上させるために、本年度の理事長及び卒業生の想いや各出向者、各委員会の報告を組み込んだJCニュースの作成を行い地域の方々に情報を発信することで、対外に向けたJC運動への参加向上につなげます。そして、メンバー一人ひとりが自覚と責任を持ち飛躍的に進化するために、JC活動や運動に参加する意義や目的を伝えることで、リーダーとしての成長につなげます。

私たちが住み暮らす八女地域の現状を今一度見つめ直し、地域の未来を見据え、全てのメンバーが自己進化を続けることで、大きく変化する時代の中で私たちJCが勇気をもって一步を踏み出し、大胆な進化を成し遂げ明るい豊かな社会の実現へと導きます。

財政局長 齋藤 尚広

2020年に全世界へと拡大した新型コロナウイルス感染症は現在も影響を与え、国際情勢も劇的に変化し人々の交流制限のみならず様々な社会問題へとなっています。私たちが住み暮らす八女地域においても人口減少及び産業衰退を抱えており、明るい豊かな社会の実現のため地域が直面する課題に焦点を当てた運動・活動を実現していくことで新たな手法を取り入れ魅力ある八女地域に進化し続けていく必要があります。

まずは、運営グループ内の情報共有と連携を高めることで、各種会議の適切な運営と事業構築のサポートを行います。そして、事業はJ C運動の根幹であり、その事業予算はメンバーから頂いた貴重な会費によって成り立ちます。さらに、財政の担当者として会費の予算管理を適切に行うとともに、財政面での不備、特にコンプライアンス上の問題が発生しないように自分自身が各種規定について十分に理解を深め、各担当者に適切な指導を行っていくことで円滑な事業構築の一助とします。また、各委員会の状況を把握できるよう各委員会との財政面での連携強化を心がけていくとともに、各委員会が安心してたくさんの魅力的な事業やJ C運動に取り組んでいけるようにサポートします。そして、各委員会が立案する議案の収支予算計画を精査し、会計基準に基づいた収支予算の適正化を図り健全な財政運営を行います。さらに、本年度の事業をより効果的に展開するために、今年度の成果や問題点を改善することでJ C I八女メンバーの意識向上へとつなげ、八女地域での永続的な運動展開を行いより良い変化に取り組んでいきます。

本年度のスローガンである「進化」のもと、J C I八女が率先して行動することで八女地域の明るい未来を実現していくと同時に財政面では冷静な判断でJ C I八女メンバーを全面的に支援します。L O M運営の財政における要として組織運営に尽力してまいります。

事務局長 樋口 繁成

近年、新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻等、世界経済の不確実性が増し、国内における災害の多発化や人口減少、少子高齢化など同時かつ複合的に押し寄せる中で、我々を取り巻く社会情勢は大きく変化し、八女地域でも同様の問題に直面しています。八女地域が明るい豊かな社会を築くためには、J Cが率先して行動し、八女地域を牽引することで、発展と成長のためにより良い変化をもたらす必要があります。

まずは、メンバーの会費から成り立っている限られた予算の中で最大限の効果を発揮するために、事務局の適正な予算執行の管理を行い、事務局を統括することで、円滑な運営を行います。そして、J C I八女のより活発なJ C活動や運動を後押しするために、資料や備品を整理整頓し、常に清潔に保つことでメンバーの作業効率アップにつなげ、総務財政会議やスタッフ会議、理事会に集中できる環境を整えることで会議の質の向上を図ります。さらに、コンプライアンス上で問題がないか議案を精査するために、運営グループ内において綿密な連携のもと情報を共有し互いにサポートし合うことで、より円滑な組織運営や会議を構築し、クリエイティブな意見が出るような環境づくりを行います。また、定款や規則を遵守するために、基本資料を正確に誤りなく作成することで、委員長の議案作成の一助となります。そして、我々の行っているJ C活動や運動をより多くの方に認知していただくために、ホームページやSNS等を活用し、力強く情報を発信・拡散することで、対外事業の参加員数の増加やJ C I八女の魅力を伝えメンバーの拡大につなげ、J C I八女の更なる飛躍へつなげます。

誰もが新たな挑戦には躊躇してしまいます。しかし、行動に移していかなければJ Cが掲げる明るい豊かな社会の実現は成しえませんが、J C I八女がメンバー一丸となって失敗を恐れず、何事にも挑戦し進化をすることで、八女地域の明るい豊かな社会を実現します。

事務局次長 入部 圭右

JCI八女は、明るい豊かな社会の実現に向けて様々な運動を展開してきました。2020年から蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響を受け満足に運動を展開できない時期もありましたが、地域を牽引すべき立場にある私たち青年は、常にその時代に沿った情報を取り入れ共有し効果的な事業を行ってきました。メンバー一人ひとりが成長できる組織を運営し、JC運動を発信することで、地域の人々に深く理解してもらう必要があります。

まずは、広報活動においてHP、SNS各種媒体を有効的に活用し投稿するだけでなく、八女地域以外の方にも認知していただくために、フォロワー数を日々増やしていくことで、JCI八女の運動をより多くの人に認識してもらいます。そして、八女地域のみならず幅広い層の方から共感を得て参画いただくために、時事投稿や効果的な広報戦略を行い、プライバシー問題を管理し責任を持った運用を行います。さらに、運営グループでは密な連携を取り事業の成功へ導くために、理事会でのスムーズな会議の運営、入念な準備を行うことで、効率的な会議が展開できるようにします。また、歴の浅いメンバーに魅力を発信し理解を深めてもらうために、多くのメンバーに事業や各種大会等に参加していただきます。そして、LOMの運営はメンバーの会費から成り立っており、運営や事業で使われる予算の必要性をメンバーに伝えていき責任を持ち期日厳守で納入してもらうように管理します。さらに、自覚と責任を持ち事務局の清掃、備品整理、資料確認、スケジュール管理を徹底しメンバー同士の活発な意見が飛び交う環境を整えます。

本年度のスローガン「進化」～勇気を持って新たなステージへ～のもと、創立以来、先輩諸兄姉が築き上げた思い尽力した経験を継承し、我々JAYCEEが常に新たな手法を取り入れ勇気を持って挑戦することで八女地域の活性、全メンバーの進化につなげていきます。